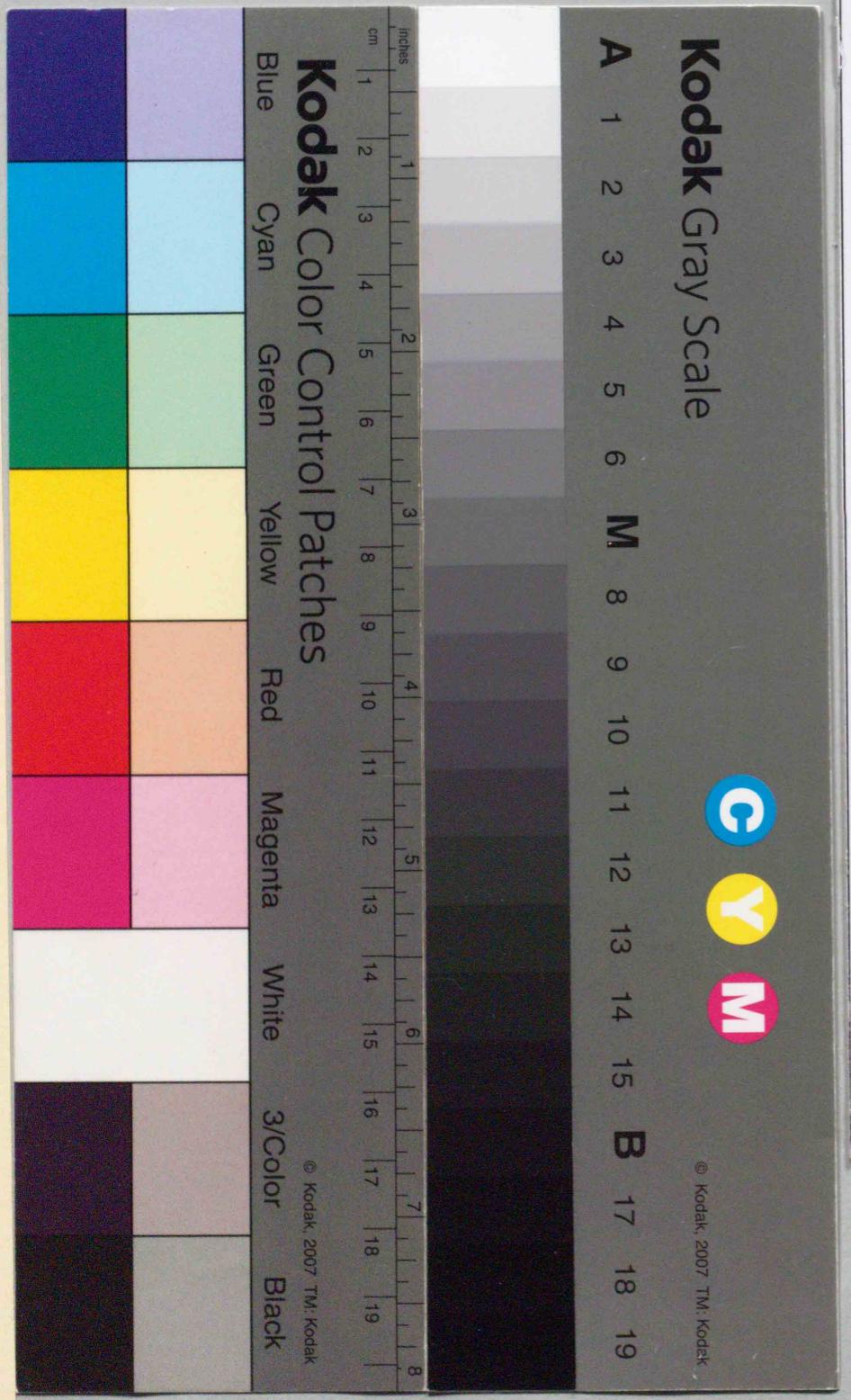


40983

教科書文庫

| | |
|--------|--|
| 4 | |
| 760 | |
| 31-194 | |
| 2000.0 | |
| 20305 | |

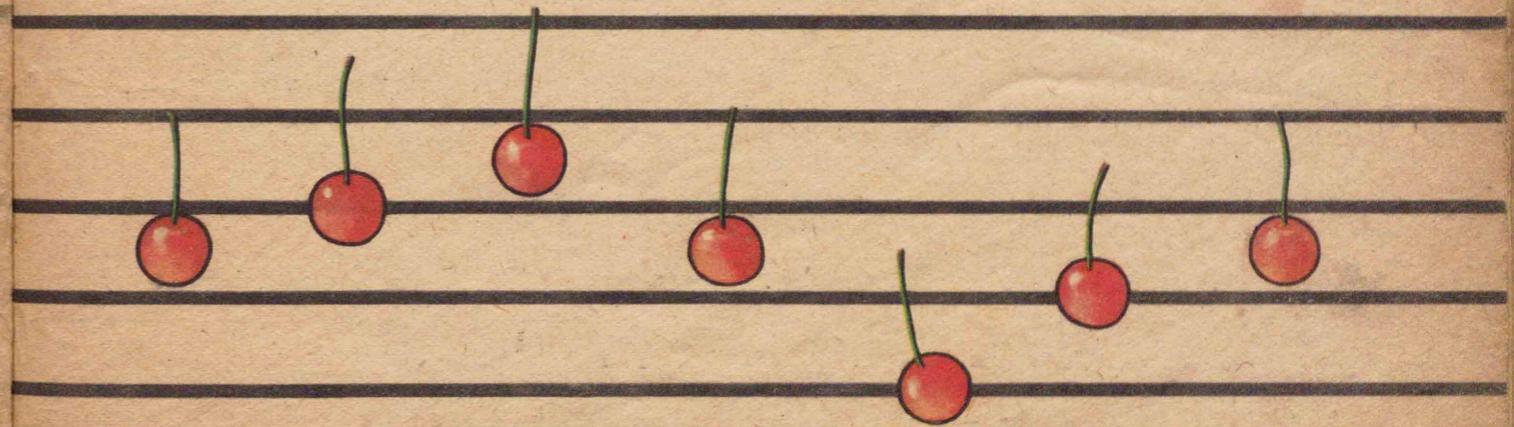


395.9
Mo14

資料室

うたのほん

下



もんぶ | やう

大廣
學圖書
也



もくろく

| | | | |
|-----------|----|------------|----|
| 君が代 | 2 | 十 朝の歌 | 24 |
| きげん節 | 5 | 十一 富士の山 | 26 |
| 一 春が來た | 6 | 十二 菊の花 | 28 |
| 二 さくら さくら | 8 | 十三 かけっこ | 30 |
| 三 國引き | 10 | 十四 たきぎひろひ | 32 |
| 四 軍かん | 12 | 十五 おもちゃの戦車 | 34 |
| 五 雨ふり | 14 | 十六 羽根つき | 36 |
| 六 花火 | 16 | 十七 兵たいさん | 38 |
| 七 たなばたさま | 18 | 十八 ひな祭 | 40 |
| 八 うさぎ | 20 | 十九 日本 | 42 |
| 九 長い道 | 22 | 二十 羽衣 | 44 |
| | | おけいこ | 46 |

君が代



キミガ一ヨーハ チヨニ一ヤチヨニ



サザレ イシノ イハホト ナリテ



コケノ ムースー マーーデ

鹿島大學圖書之印

君が代は

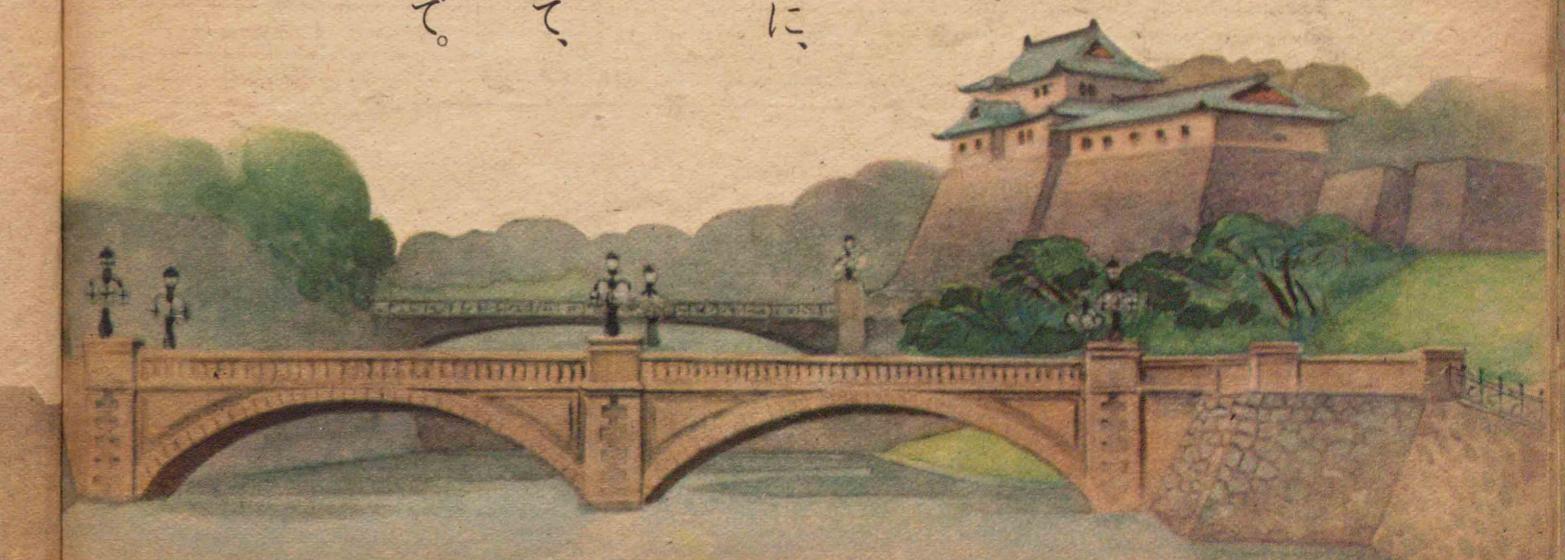
君が代

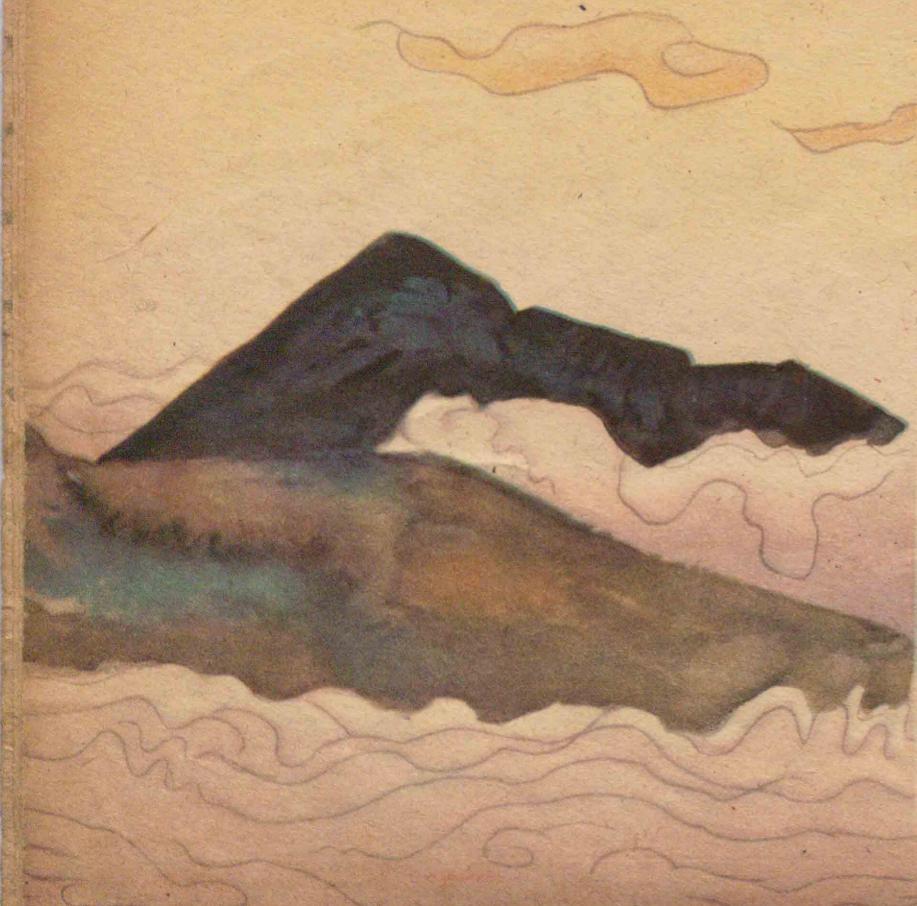
ちよに やちよに、

さざれいしの

いはほと なりて、

こけの むすまで。





四、空に かがやく 日のもとの
よろづの 國に たぐひなき、
國の みはしら たてし よを
あふぐ 今日こそ たのしけれ。

もとみ 定めし その がみを
あふぐ 今日こそ たのしけれ。

きげん節

一、雲に そびゆる 高ちほの
高根おろしに、草も、木も、
なびき ふしけん 大みよを
あふぐ 今日こそ たのしけれ。

二、うな原 なせる はにやすの
池の おもより なほ 廣き
めぐみの 波に あみし よを
あふぐ 今日こそ たのしけれ。

三、あまつひつぎの 高みくら、
ちよ よろづよに 動きなき

春が來た



一 ハルガキタ、ハルガキタ ドコニキサ
二 はながさく はながさく どこに



トイニキタ サトニキタ ノニモキサ
やまにさく さとどにさく のにはもさ

一 春が來た

春が來た、
どこに來た、
山に來た、
里に來た、
野にも來た。

二 花が咲く、
花が咲く、
どこに咲く、
山に咲く、
里に咲く、
野にも咲く。

山に來た、
里に來た、
野にも來た。

一 春が來た



さくら さくら



さくら さくら
野山も 里も、

見わたす かぎり、

かすみか 雲か、

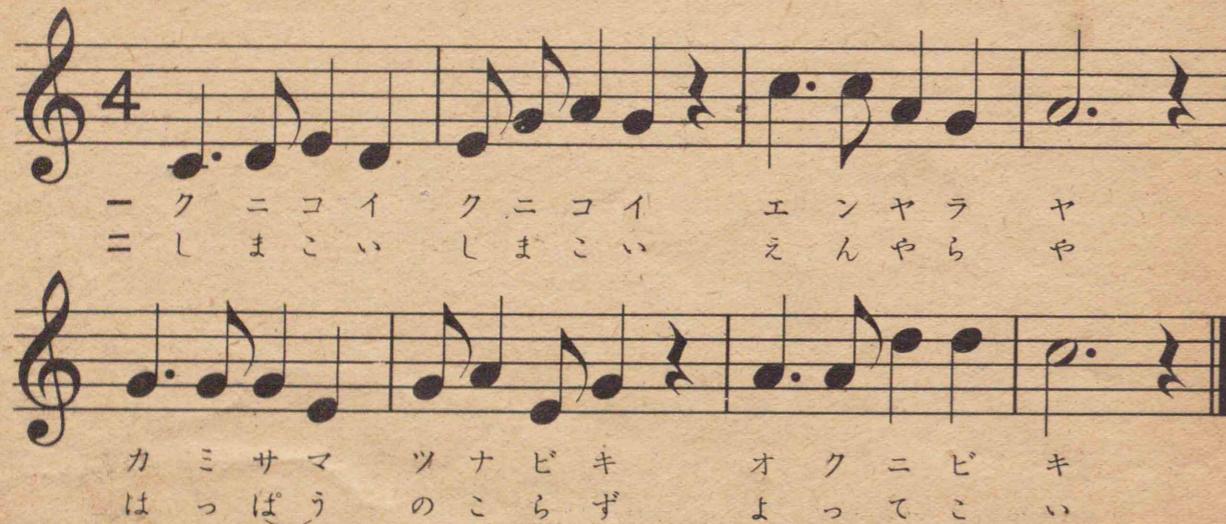
朝日に にほふ。

さくら さくら、

花ざかり。



國引き



一 クニコイ クニコイ エンヤラ ヤ
ニ しまこい しまこい えんやら や

カミサマ ツナビキ オクニビキ
はつぱう のこらはず よつてこい

三國引き

一國來

えんやらや。

神
芝
主

お國引き。

二
しま
來
い

しま
來い

はつぱう

よつて
來い。



軍かん

2

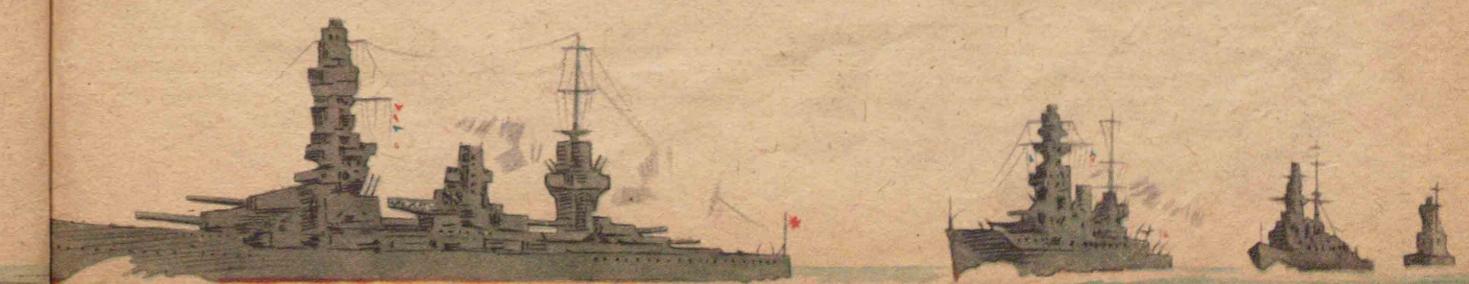
一 ユ ケ ュ ケ グン カン ニッ ポン ノ
二 ヨ ケ ュ ケ グン カン ニッ ポン ノ
三 ヨ ケ ュ ケ グン カン ニッ ポン ノ

ク ニ ノ マ ハ リ ハ ミ ナ ウ ミ
ニ ノ ヒ ハ リ ハ ミ ナ ウ ミ
ノ ヒ ハ リ ハ ミ ナ ウ ミ

ウ ミ ノ オ ホ ナ ミ コ エ テ ユ ケ
ミ ノ オ ホ ナ ミ コ エ テ ユ ケ
ミ ノ オ ホ ナ ミ コ エ テ ユ ケ

四 軍かん

一 行け 行け、軍かん、
日本 の 国の 海の
國の まはりは、 みんな 大なみ
日本 の 光を こえて 行け。
二 行け 行け、軍かん、
日本 の 国の 海の
何千り、 はてまで
海の 何千り、 はてまで
かがやかせ。 かがやかせ。



雨 ふ り



五 雨 ふ り

一 雨 雨 ふる ふる

田に はたに。

子どもは せつせと

苗はこび。

小犬も かけます、

たんぼみち。

二 雨 雨 ふる ふる

野に 山に。

おとなは そろつて

田うゑする。

つばめは どびます、

かさの 上。



花 火



一 どん ト ナッタ ハナビダ キ レイダ ナ
ニ どん と なつた なん びやく あ かいほ し



ソ ライツ パ 一イニ ヒ 口ガツ タ
い ち ど に か は つ て あ を い ほ し



シ 一ダレ ヤナーギガ ヒ 口ガツ タ
も 一 ち ど か は 一 つ て き ん の ほ し

六 花 火



一 どん と なつた。
花 火 だ,
きれい だな。
空 いつぱい に
ひろがつた,
しだれやなぎが
ひろがつた。
二 どん と なつた。
何 百、
赤い 星,
青い 星,
金の 星。
一 ど に かはつて,
も 一 ど かはつて,
かはつて,

たなばたさま

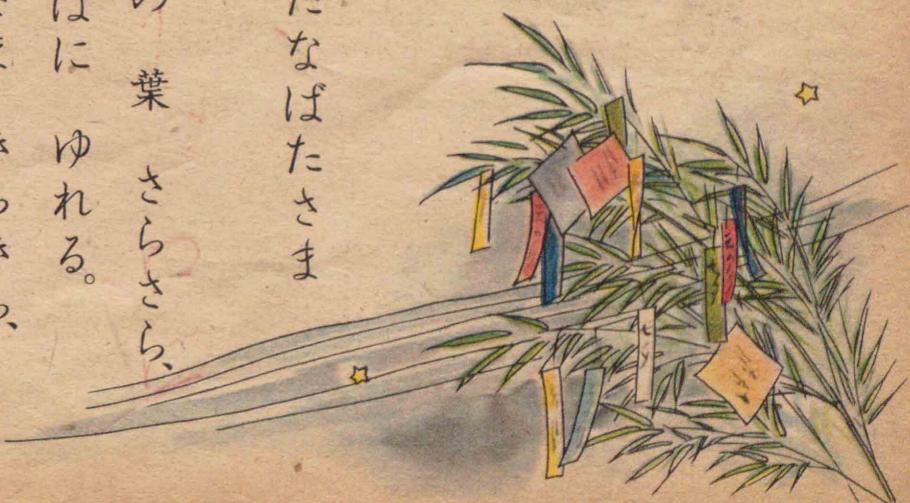
2

一 サ サ ノ ハ の サ ラ サ ザ ラ
ニ ゴ シ き の た ラン ザ く

ノ わ キ タ バ 二 ニ ガ ユ カ レ ハ ル タ
わ

オ ホ シ シ サ マ マ キ キ ラ キ キ ラ
お

スミ ナテ ゴ
ギカ ンラ 一
キソ ンラ さ
ンラニ 一
五しきの さきの
わたしが 葉
お星さま お星さま
きんぎん 砂子。
空から たなばたさま
見てる。 のきばに ゆれる。
お星さま きらきら、
空から 見てる。



うさぎ



ウサギ ウサギ ナニミテ ハネル



ジフコヤ オツキサマ ミテハ 一一ネル

ハ うさぎ

うさぎ、
うさぎ、

なに見て
はねる。

十五夜

お月さま、

見てはねる。



長　い　道



九　長　い　道

一　どこまで　行つても、
長　い　道。
夕日が　赤　い、
森の　上。

二　どこまで　行つても、
長　い　道。
ごうんと　お寺の
かねが　なる。



朝の歌



十 朝の歌

一すずめが ちゅんちゅん、

朝の歌 歌ふ。

みなさん お早う、

ごきげん いかが、

きれいな お水で

お顔を あらひませう。

二吹く 風 そよそよ、

朝の歌 歌ふ。

みなさん お早う、

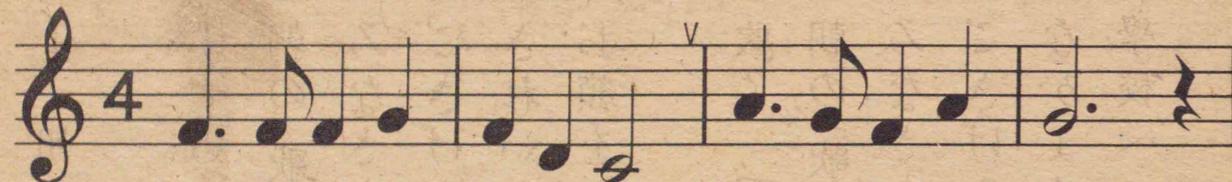
ごきげん いかが、

なかよく そろつて

学校へ まみりませう。



富士の山



一 オ ホムカ シカラ クモノウ へ
二 い まに つ ぽんに た づねく る



ユ キヲ イタダク フジノヤ マ
よ そ の く に び と あ ふ ぐ や ま



イ クセン マネン ノの コクミン ノも
ハ クセン マネン ノの コクミン ノも

十一 富士の山



コセ 口 い ヨメタチ カカ ミミ ノの ヤ や マ
セ か だ い メタチ カカ ミミ ノの ヤ や マ

一大昔から 雲の上
雪を いただく
富士の山。
いく千まんの國みんの
心きよめた神の山。
二今、日本にたづね来る
よその國人あふぐ山。
いくまん年ののちまでも、
世界だい一、神の山。



菊の花



十二 菊の花

一 きれいな 花よ、菊の花。
白や 黄色の 菊の花。
二 けだかい 花よ、菊の花。
あふぐ ごもんの 菊の花。
三 日本の 秋を かざる 花。
きよひ かおりの 菊の花。
花。

かけっこ



一 カケッコ カケッコ トベトベ ハシレ
二 あとから つづくぞ とべとべ はやく



ア カ カ テ ア カ カ テ ヒ ト イ キ ダ
(シ ロ カ テ シ ロ カ テ ヒ ト イ キ ダ)
あ か か て あ か か て け っ しょ う だ
(し ろ か て シ ろ か て け っ しょ う だ)

十三 かけっこ

一 かけっこ かけっこ かけっこ
二 とべ とべ、走れ。
赤 かて、赤 かて、赤 かて
白 ひといき だ。 かて、白 かて、白 かて
赤 かて、赤 かて、赤 かて
白 かて、白 かて、白 かて
赤 かて、赤 かて、赤 かて
白 かて、白 かて、白 かて



たきぎひろひ



十四 たきぎひろひ

一 あつたよ、あつたよ、
枯枝 あつたよ。
松 だよ、すぎ だよ、
ここにも あつたよ、
たくさん あつたよ。

二 せつせと、せつせと、
枯木を ひろはう。
松 だよ、すぎ だよ、
うんとこ どつこい、
かついで かへらう。



おもちゃの 戰車

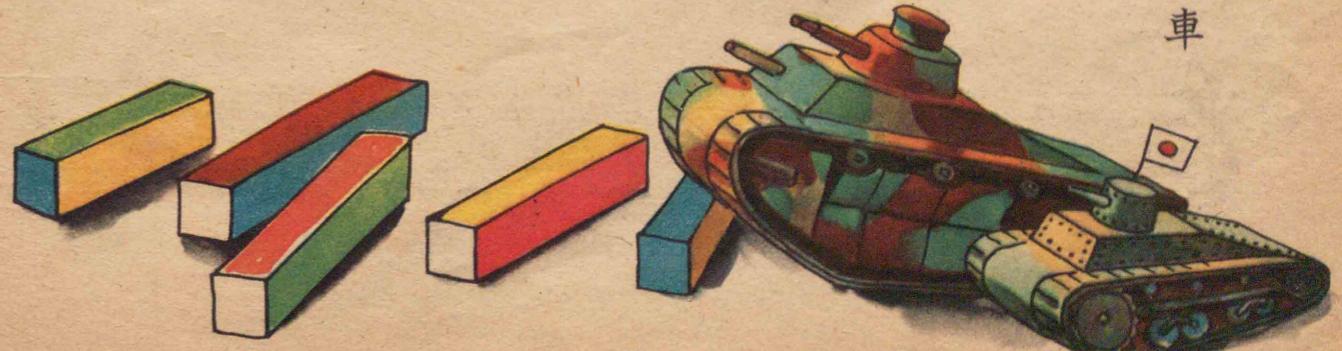
2

一 オ モ チ ャ ノ セ ン シ ャ ス ス メ ヨ ス ス メ
二 お も ち ゃ の セ ん シ ゃ は し れ よ は し れ
ツ ミ キ ノ ザ ク リ ー ク ズ ソ ズ ソ こ エ テ
シ き る の ク リ ー ク へ い き で こ え て
ゴウ ゴウ ガ ラ ガ ラ ス ハ ス メ ヨ ス ス メ
ゴウ ゴウ ガ ラ ガ ラ は ス メ ヨ ス ス メ

十五 おもちゃの 戰車

一 おもちゃの 戰車、すすめよ、すすめ。
つみ木の ざんがう、ざんがう、
ずんずん こえて、がらがら、
ごうごう がらがら、
すすめよ、すすめ。

二 おもちゃの 戰車、
走れよ、走れ。
しきあのかクリーク、
へいきて こえて、
ごうごう がらがら、
走れよ、走れ。



羽根つき

2

一 オヒバネコバネコトリニナツテ
ニおひばねこばねてふてふになつて
ソラマデアガレヒイフミイヨニ
ひらひらまへよひふみよ
イツツデワタソハナコサンニワタソ
いつつでわたせはるえさんにわたせ

羽根つき

十六 羽根つき

一 追羽根 小羽根

小鳥になつて、
空まであがれ。

ひふみひよ
いつつ渡そ。
花子さんに渡そ。

二 追羽根 小羽根、

てふてふになつて、
ひらひらまへよ。
ひふみよ
いつつ渡せ、
春枝さんに渡せ。



兵たいさん



2

テッ パウ カツ イダ ヘイ タイ サン
おう まに のつ た一 ひ たい さん

アシナミ ソロ ヘテ アルイ テル
ナ な を けたて かけて く

トッ トコ トッ トコ アルイ テル
ぱっ ぱか ぱっ ぱか かけて く

十七 兵たいさん

タイ サン ハは イサマシイ
たい さん は いさまし い

一 てつぱう かつひだ
兵たいさん 足並そろへて
あるいてる。 あるいてる。
とつどこ とつどこ
あるいてる。 あるいてる。
兵たいさんは 勇ましい。
兵たいさんは 勇ましい。
兵たいさんは 勇ましい。
兵たいさんは 勇ましい。



ひな祭

2

一
アゴア
ヘハ
カにラ
インレ
マバヒ
ウヤシ
セシモ
ンやチ
キンシ
シカオ
ツぢロ
メたザ
テちケ
二
ニミ
アゴア
ヘハ
カにラ
インレ
マバヒ
ウヤシ
セシモ
ンやチ
キンシ
シカオ
ツぢロ
メたザ
テちケ
三
オソボ
ダルン
イッボ
リトリ
サナカ
マラザ
ハブル
ウシオ
ヘタモ
ノのシ
ダだロ
ンんサ
四
キドケ
ノモハ
ンれフ
ビキサ
ウレソ
ブハク
ニナツ
ギおヒ
ンヒナ
ダさツ
ノなマ
イマリ

三
あられひし餅・お白ざけ、
ぼんぼり　かざる　おもしろさ、
今日は　三月　ひな祭。

二
五人ばやしや　官女たち、
そろつて　並ぶ　下の　だん、
どれも　きれいな　おひな様。

一
赤い　まうせん　しきつめて、
おだいり様は　上の　だん、
金の　びやうぶに　ぎんの　だい。

十八　ひな祭



日 本



一ニツ ポン ヨイクニ キヨイク ニ
ニにつ ぽん よいくに つよいく に



セカイニヒトツノカミノクニ
せかいにかがやくかえみらはくに

十九 日 本

一日本 よい

きよい

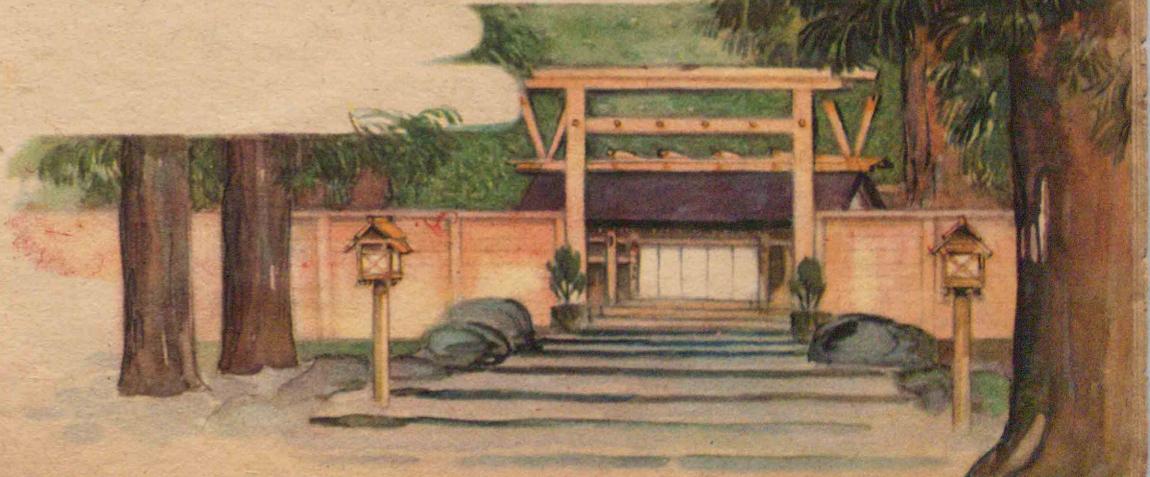
世界に 一つの

神の國。

二日本 よい

強い國。

世界に かがやく
えらい國。



羽 衣

3

一白、はまべの
波がよせたり、
かへしたり。

二あまの 羽衣
ひらひらと、
天によるまひの
美しさ。

三いつか かすみに
つつまれて、
空にほんのり
富士の山。



二十 羽 衣



一白、はまべの
波がよせたり、
かへしたり。

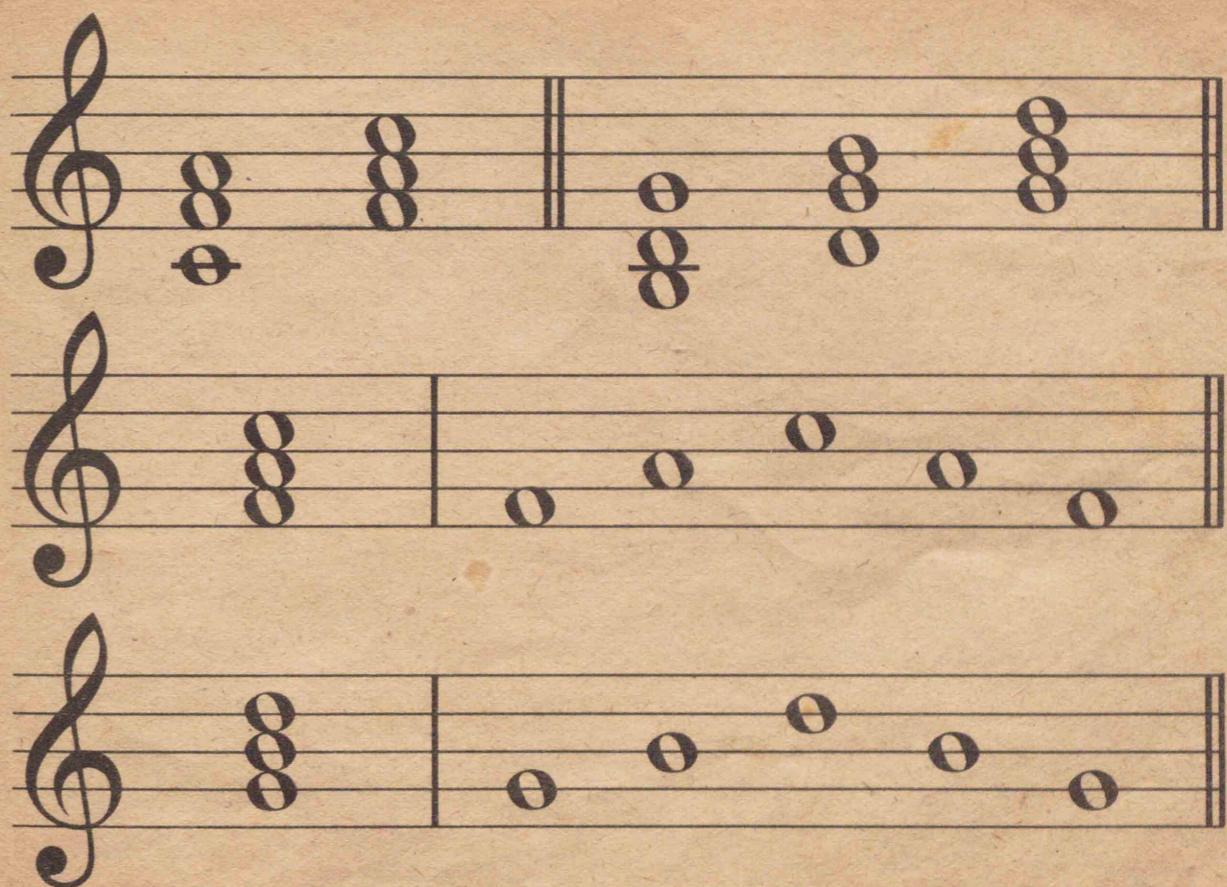
二あまの 羽衣
ひらひらと、
天によるまひの
美しさ。

三いつか かすみに
つつまれて、
空にほんのり
富士の山。

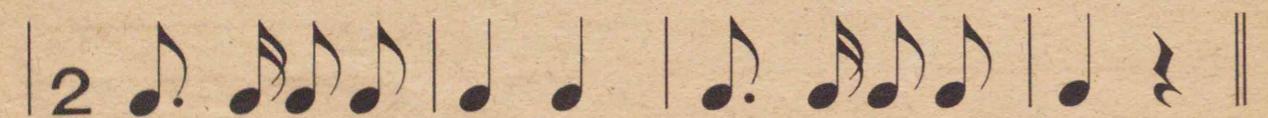
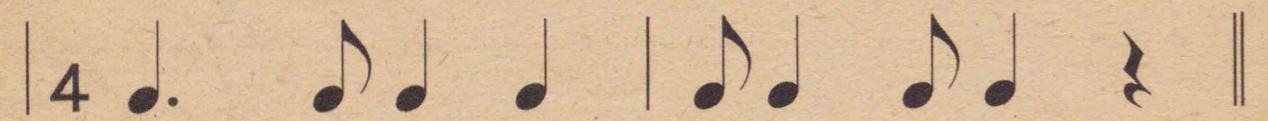
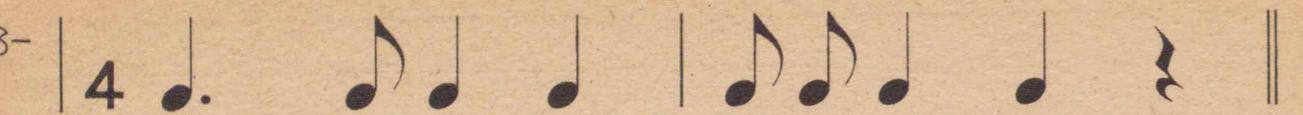
-46-



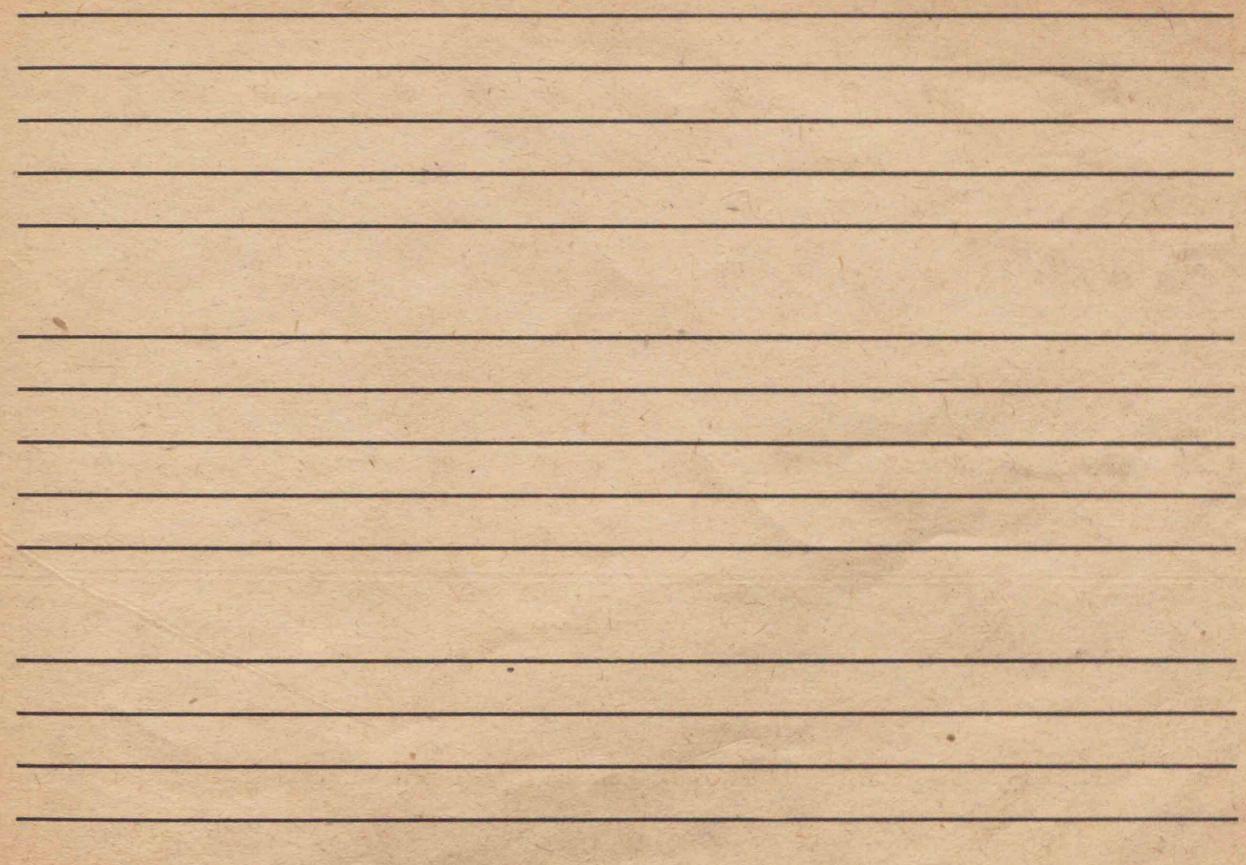
-47-



-48-



-49-



-50-

-51-



-52-

-53-

發行所 大日本圖書株式會社

印刷所 共同印刷株式會社
東京市小石川區久堅町百八番地



昭和十六年三月七日
文部省検査済

印刷者 大橋光吉
東京市小石川區久堅町百八番地

代表者 杉山常次郎

發行者 大日本圖書株式會社
東京市京橋區銀座一丁目五番地

著作権所有

著作兼文部省

古省

昭和十六年三月三十一日 翻刻發行
昭和十六年三月七日 翻刻印刷
昭和十六年三月四日 印刷

新 定價金拾四錢
うたのほん下

三年生

赤坂良孝